



西岳小ホームページ
アクセスしてください。

おがたま

都城市立西岳小学校
学校だより 10月号
令和6年10月28日発行

西岳っ子の合言葉 知恵いっぱい 笑顔いっぱい やる気いっぱい

PTA レクリエーション

10月19日(土)に、PTAレクリエーションをしました。親子でグランドゴルフを行う予定だったのですが、朝からあいにくの雷雨となり、体育館で「玉入れ大会」となりました。グループを作って、それぞれ48個の玉を入れ終えたチームの勝利としましたが、どの対戦も秒差で決まる接戦となり、大いに盛り上がりました。

みなんでお弁当を食べた後の表彰式では、教頭先生が作った金メダル・銀メダルをPTA会長さんから首にかけてもらい、とてもうれしそうにながめる姿がありました。



オガタマノキ (学校に吉川正一さんの記録文が残されていたので抜粋して掲載させていただきました。)

西岳小校庭の県道に近いところに2本のオガタマノキがある。これらは、西岳小の象徴ともなっており、学校通信「おがたま」の題名として使われている。現在、この2本は、かなりの大木になっているが、私が小学校に入学した昭和22年頃は、今よりぐっと細く直径10センチくらいだったと思う。

学校の看板には、植えた年代などは分からないとあるが、分かる部分もあるのでここに示したい。

- 植えた年代・・・昭和15年(1940年 春)
- 二本接近した理由・・・天皇・皇后両陛下を表す(中略)



西岳っ子をずっと見守っているオガタマノキ

この木の成長の特徴から、昭和22年頃が、樹齢20~30年程度と思われるので、現代(令和2年)では、樹齢100年程度と思われる。上記のことは、私が小学生の時に小学校で教わったことであり、また、父や兄たちが当時の人々からよく聞かされた話である。しかし、それを知る人が次第に減り、ほとんど忘れ去られたのだろう。小学校の頃の木は、登りやすく、休み時間や運動会の練習の合間に、男の子はよく登って遊んでいた。また、昭和50年代後半から平成10年代頃にかけて、この木の近く一帯にアスレチックが設置されていた。この時も、この木の横張りの枝を利用して樹上に足場が組まれ、太いロープも張りめぐらされていた。児童はここに登り精一杯遊んだものである。しかしやがて朽ち始めて危険となり、撤去されたのだ。 (中略) 現代、巨樹といわれる老樹は、天然記念物に指定されて保護されているが、このオガタマノキも将来の天然記念物として育て残したい木である。

【お知らせ】 持久走の練習が始まりました。11月29日(金)「校内クロスカントリー大会」(10時45分~11時45分)を目指してがんばります。地域の皆さんも、ぜひ応援にいらしてください。